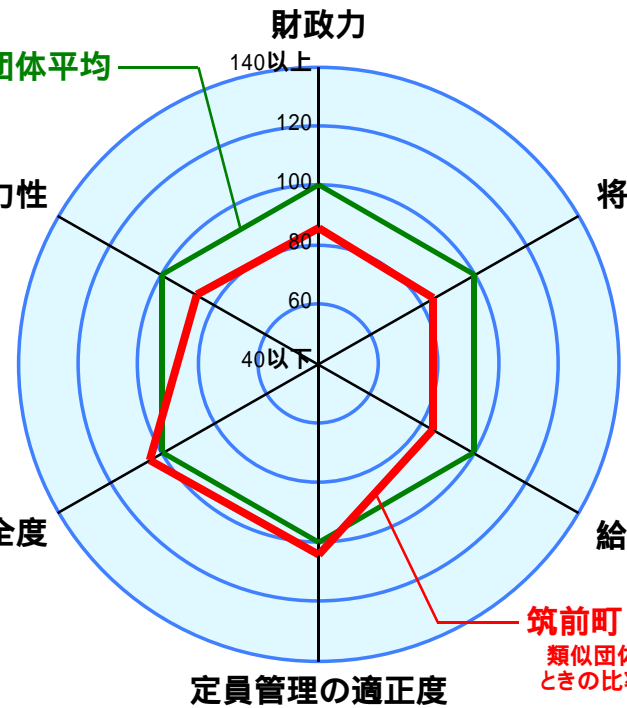


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 筑前町

人口	29,342 人(H17.3.31現在)
面積	67.18 km ²
歳入総額	11,269,700 千円
歳出総額	10,942,212 千円
実質収支	327,488 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
景気低迷による減収などから、0.48と類似団体平均を下回っている。退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減(5年間で15%)、事務事業の見直しにより委託料等の削減(5年間で10%)等歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税等の滞納対策を強化し歳入確保に努める。

経常収支比率
扶助費、公債費の増加により93.5%と類似団体平均を上回っている。歳出の徹底的な見直しにより、経常的経費の削減(5年間で10%)に努める。公債費については、中長期的な財政計画に基づき健全な財政運営に努める。

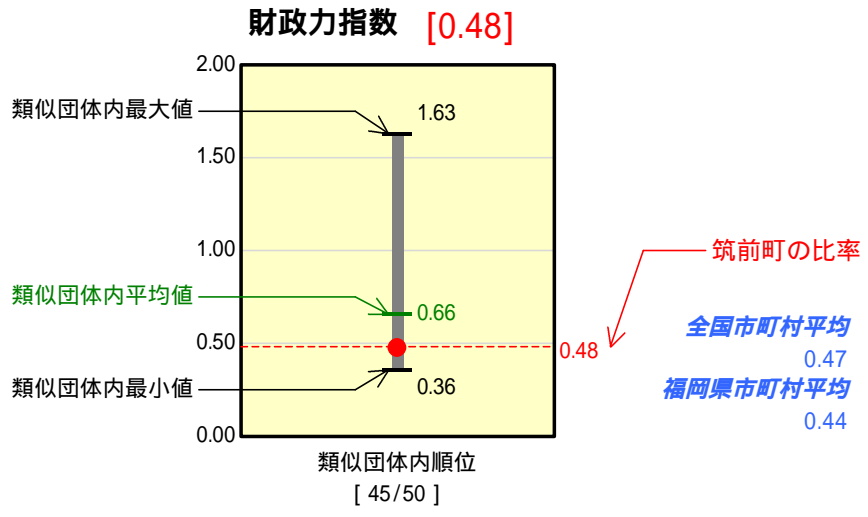
起債制限比率
過去からの起債抑制により、類似団体平均を下回っているが、合併特例債事業による増加が見込まれる。起債償還額を平準化することにより起債制限比率の急激な上昇を抑える。

人口1人当り地方債現在高
大規模事業の実施により、類似団体平均を上回っている。今後、合併特例債事業により増加が見込まれる。「筑前町総合計画」、「中長期財政計画」に基づく計画的な財政運営に努める。

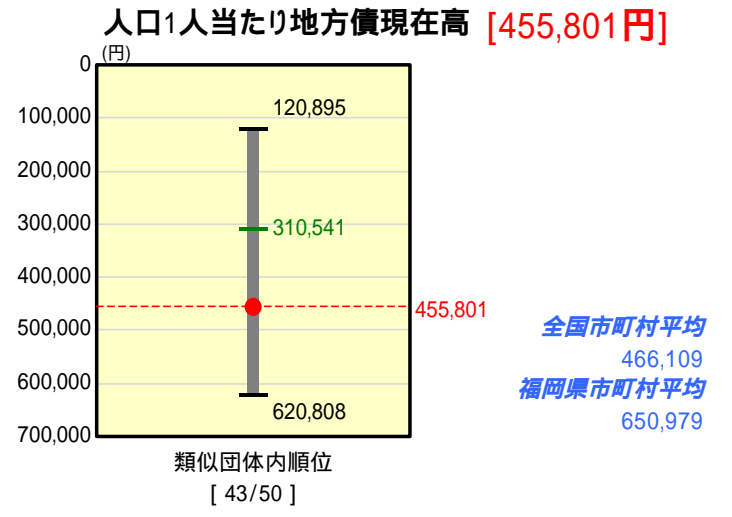
ラスパイレス指数
類似団体平均を上回る100.2である。行政改革を推進して、給与体系の見直しを行い、人件費の削減(5年間で15%)に努める。

人口1,000人当り職員数
過去からの新規採用抑制により類似団体平均を下回っている。今後、事務事業の見直し、職員の適正配置、退職者不補充等により職員数の削減(5年間で9.2%)に努める。

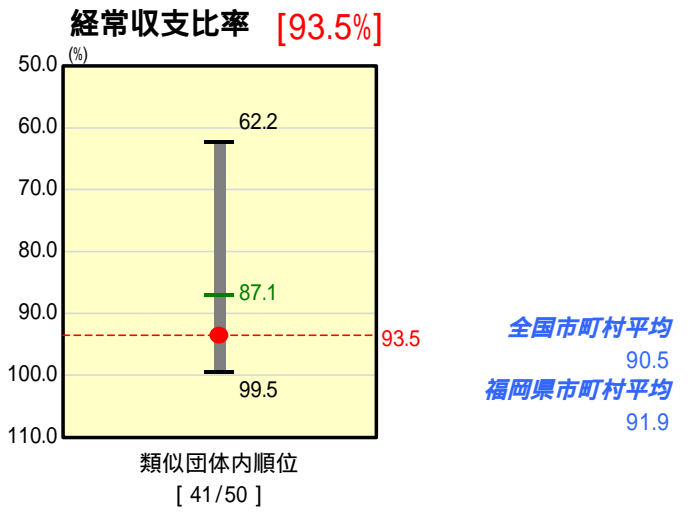
財政力



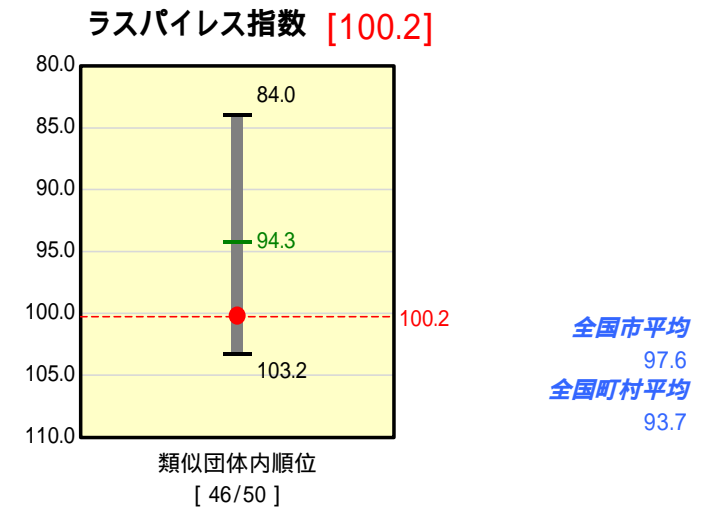
将来負担の健全度



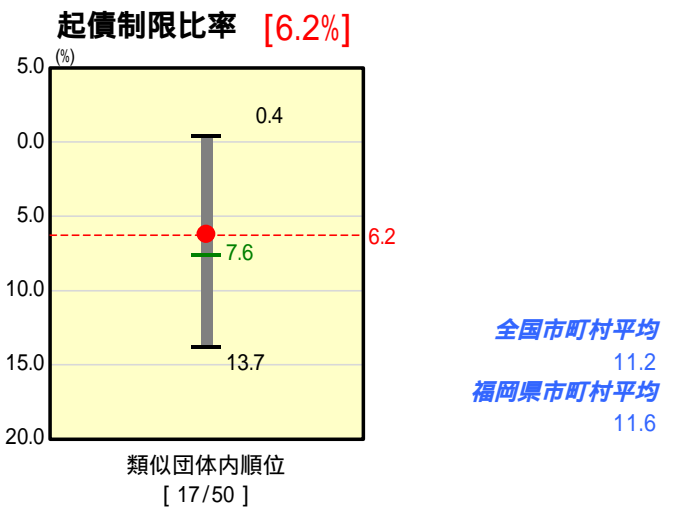
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

